

内閣総理大臣 鳩山 由紀夫 殿
副総理・国家戦略担当大臣 菅 直人 殿
行政刷新会議担当大臣 仙谷 由人 殿
文部科学大臣 川端 達夫 殿
財務大臣 藤井 裕久 殿
男女共同参画担当大臣 福島 みずほ 殿

学術および科学技術の研究振興政策に関する要望

平成 21 年 12 月 3 日
生物科学学会連合

行政刷新会議の作業グループにより行われた科学技術分野に関する事業仕分けの審議および判定に関しまして、我が国の基礎生物科学関連の24学会（会員総数72,000名）からなる生物科学学会連合として以下のように要望いたします。

今回の事業仕分けは、複雑な支援制度の課題を指摘するなど評価すべき新たな試みであると思います。しかしながら、短期的収益のみを求め、長期的な視野に欠けており、また研究現場の実情を十分理解していないと思われる点多々あります。学術・科学技術は長い時間をかけて成熟し発展するものであり、短絡的な結論によりそれを一度途絶えさせてしまうと、その回復には長い時間が必要となります。学術・科学技術の予算編成にあたり、「科学技術創造立国日本」としての長期的な視野に立ち、とくに以下の点につき、専門家の意見を取り入れて将来に禍根を残すことのないよう、一層の配慮をお願い申し上げます。

（1）基盤的研究の継続的な支援

自然科学の研究は、自然が示す複雑かつ精緻な仕組みを解明し、人類の知的好奇心を満たす基礎科学であるとともに、産業の基盤として国民生活の向上および経済の発展に大きく寄与するものであり、我が国の持続的発展にとって必要不可欠なものです。科学研究は、国や機関の定める研究プロジェクトに沿ったトップダウン型研究と、研究者の自由で自発的な発想に基づいたボトムアップ型研究の二者によって支えられており、この二者は科学研究と教育に対する相補的な役割を担ってきました。遺伝子組換え技術や昨今話題となっている i P S 細胞など、真に革命的なイノベーションは、ほとんど例外

なく科学的な好奇心に基づく基礎研究から生まれています。そうした科学技術の基盤となる科学研究費補助金を中心とするボトムアップ型研究の研究費を縮減することなく継続的に支援していただくよう要望します。

また、バイオリソース事業など生物科学の発展のための基盤事業についても否定的な判定が出ておりますが、こうした事業は長い時間をかけて蓄積してきた研究材料・技術・知識・情報を、産業界も含めた研究者コミュニティに提供するものであり、一度失うと取り戻すことができません。基盤的事業の継続を求めます。

(2) 若手研究者に対する体系的な育成・支援

若手研究者の育成は、国の研究能力の向上と維持のために必須であることは言うまでもありません。博士学位を持つ若手研究者（ポスドク）は、科学技術を担う中心的な存在です。ポスドクを研究職に就けない若手研究者として救済の対象とみなすことは根本的な誤りです。ポスドク等の任期つき研究者に関しては、わが国の科学技術の基本的な担い手であるという位置づけを行い、彼らの創意性と自立性が十分に発揮できるよう、科学研究費補助金若手研究などによる研究支援を強化することを要望します。一方で、大学等においては運営費交付金の恒常的削減により安定な研究職が年々減少している現実があり、これは若い研究者の夢を砕き、頭脳の海外流失を促すものです。まずは、こうした基盤的経費の恒常的削減を大幅な増加に転じることが重要であり、その上ではじめて競争的資金が有効に機能するものと思います。

日本の大学院においては、大学院生は教育を受ける学生であるとともに、研究の主要な担い手です。このような大学院生は、日本の宝とも言うべきものであり、研究に応じた競争的支援制度（現行の日本学術振興会特別研究員 DC1, DC2）に加え、授業料免除、奨学金などの政策メニューを体系的に再検討し、欧米並か少なくとも現状以上の支援を要望します。また、大学院生からポスドク、さらにポスドクから安定的研究職に就く過程で、養成した多くの女性研究者が失われている現状があり、日本の女性研究者比率は先進 34 カ国中最下位です。優れた研究は多様な研究者集団から生まれるものです。「科学技術創造立国日本」として、学術・科学技術分野での優れた人材の発掘・育成・登用を積極的に促進するため、若手研究者の支援とともに、女性研究者育成の支援の拡充を要望します。

なお、今回の事業仕分けの過程において、現場から乖離した議論が多々見受けられます。政策立案、予算編成、トップダウン型プロジェクトの選定等に際しては、学会等との幅広い情報交換を促進する制度を整備・拡充し、現場の声をよりいっそう反映したものとすることを強く要望します。

生物科学学会連合 代表 宮島 篤
生物科学学会連合 前代表 浅島 誠 (日本学術会議第二部部長)
個体群生態学会 会長 巖佐 庸
日本味と匂学会 会長 椛 秀人
日本遺伝学会 会長 五條堀 孝
日本宇宙生物科学学会 会長 森 滋夫
日本解剖学会 理事長 内山 安男
日本細胞生物学会 会長 西田 栄介
日本植物学会 会長 福田 裕穂
日本植物生理学会 会長 中村 研三
日本進化学会 会長 長谷川 真理子
日本神経化学会 理事長 高坂 新一
日本神経科学学会 会長 津本 忠治
日本生化学会 会長 北 潔
日本生態学会 会長 矢原 徹一
日本生物教育学会 会長 見上 一幸
日本生物物理学会 会長 曾我部 正博
日本生理学会 会長 岡田 泰伸
日本動物学会 会長 佐藤 矩行
日本発生生物学会 会長 相澤 慎一
日本比較生理生化学会 会長 小泉 修
日本比較内分泌学会 会長 筒井 和義
日本微生物生態学会 会長 木暮 一啓
日本分子生物学会 理事長 岡田 清孝
日本免疫学会 理事長 稲葉 カヨ
日本薬理学会 理事長 成宮 周